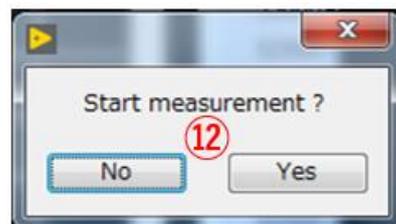
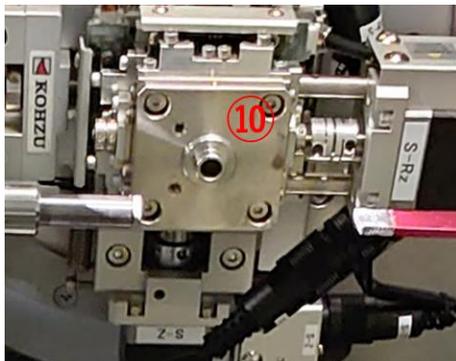
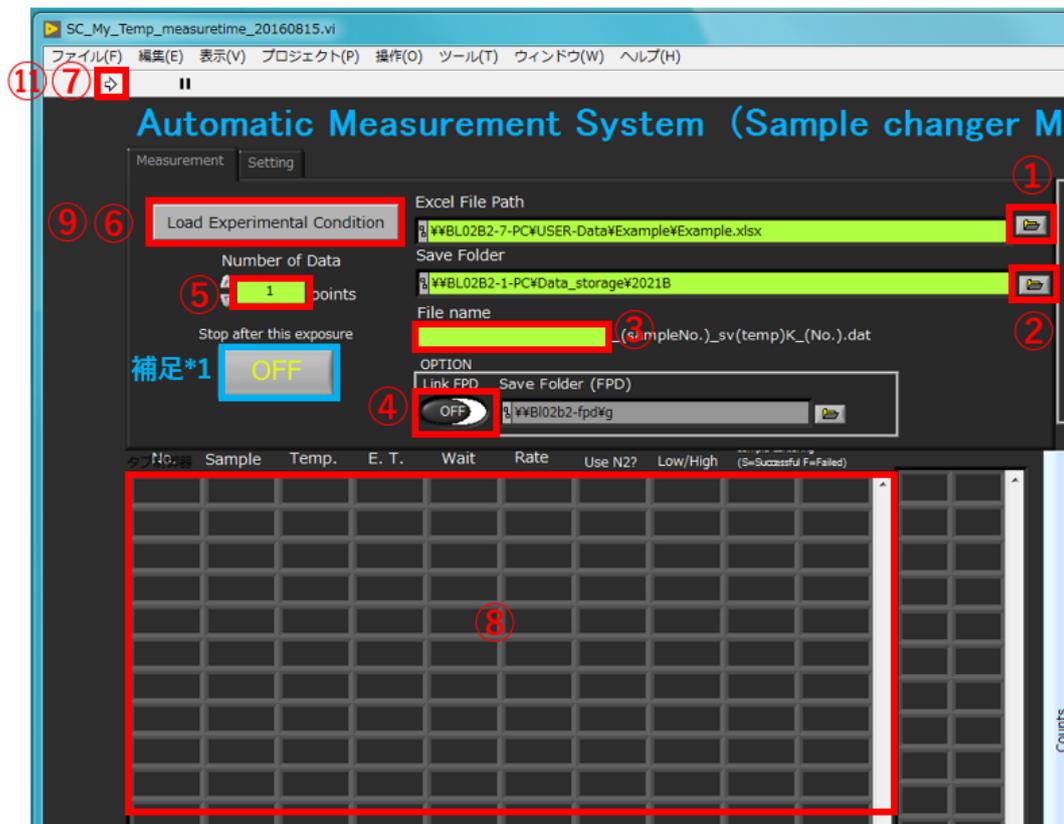


Mythen (+ FPD) 自動測定マニュアル (ver. 20221019)

(高温・低温 N2 吹付使用, 室温もちろん OK, 自動サンプルチェンジャー使用)
(このマニュアルは自動サンプルチェンジャーが回折計前まで挿入されていることを前提にしています。挿入されていない場合はビームライン担当者までお尋ねください。)

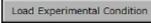
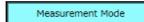
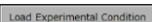
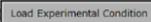
[注意] フォルダー名やファイル名などはすべて半角英数字のみを使用してください。記号はアンダーバー (_) とハイフン (-) のみ使用できます。他の全ての記号, 日本語, スペースなどは使用できません。



操作方法

- ①フォルダマークからエクセルファイルを指定する。黄緑枠にパスの直打ちはしない。
- ②保存先フォルダをフォルダマークから指定する。黄緑枠にパスの直打ちはしない。
- ③データのファイル名をつける。これは黄緑枠220529_test_sampleに直打ちする。以前使用した名前と同じ名前は使用しないでください。データが上書きされてしまいます。
- ④フラットパネルでも取りたい場合は Link FPD を ONにする。保存先は変えないで。
- ⑤エクセルファイルに入力したデータ数を黄緑枠10に入力する。例えば、下の場合は「10」。

No	SampleNo.	Temperature(K)	Exposure time(sec)	wait(sec)	rate(K/min)	use N2	Low/High	Comment
1	1	200	300	60	50	y	L	test-sample1
2	1	250	300	60	50	y	L	test-sample1
3	1	300	300	60	50	y	L	test-sample1
4	1	350	300	60	50	y	H	test-sample1
5	1	400	300	60	50	y	H	test-sample1
6	2	200	500	30	25	y	L	test-sample2
7	2	250	500	30	25	y	L	test-sample2
8	2	300	500	30	25	y	L	test-sample2
9	2	350	500	30	25	y	H	test-sample2
10	2	400	500	30	25	y	H	test-sample2

- ⑥ Load Experimental Condition  になっていることを確認する。もし Measurement Mode  になっていたら、 をクリックして Load Experimental Condition  に変える。
- ⑦実行ボタンを押してエクセルファイルを読み込む。
- ⑧入力した条件が反映されていますので、間違いがないか確認する。
- ⑨  をクリックして Measurement Mode  に変える。
- ⑩試料がスピナーにささっていないことを確認してください。ハッチの外からもカメラで見えます。
- ⑪実行ボタンを押す。
- ⑫ポップアップが出てきますので、問題がなければ Yes を押す。分析が開始されます。もし、何か問題がある場合は No を押せば安全にスタートを取り消しできます。

補足*1 もし、途中で測定を止めなくなったら、Stop after this exposure の[OFF]をクリックして[ON]に変える。そうすると今実行中の番号が終わった後に正常に終了できます。